

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



写真：ニイニイゼミ

セミたちの声が賑やかな季節がやってきました。

暑い日が多くなりましたので、日差しと気温には十分注意してください。



特集 海上の森はいま

平成24年度あいち海上の森大学が開校しました



この人!

<三十七回も遊びに行った愛・地球博>

くす玉人形作家

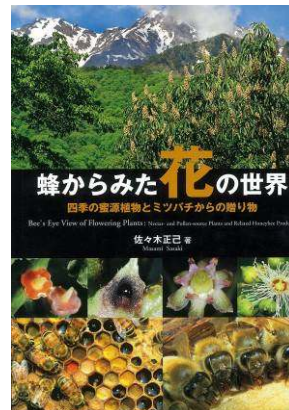
八島 昭子さん

情報ライブラリー図書を紹介します

蜂からみた花の世界-四季の蜜源植物とミツバチからの贈り物-

身近な植物や花が、ミツバチにはどのように見えるのでしょうか。この本は、多様な植物とそれらの蜜の特性、ハチの習性などを知ることができます。第1部では680種の蜜源植物について解説しており、蜜・花粉源植物としての評価、花粉タンゴの色や蜜腺、開花暦など、ハチから見た植物の姿が分かります。第2部ではハチの行動や関連する養蜂産物などがわかりやすくまとめられ、ハチに親しみが増す内容となっています。

この本はガラスケースの中にあります。ケースの中には、図鑑などの大型の本があります。読んでみたい本がありましたら、ライブラリー内の電話で気軽にお申し付けください。



特集 海上の森はいま

平成24年度あいち海上の森大学が開校しました



平成24年7月8日（日）、愛知県立大学多目的ホールで、あいち海上の森大学の開校式が県及び市民関係者など約百名の参加を得て、盛大に行われました。

本年度は、森林再生コースに16名、国際交流コースにベトナム、中国及びタイからの留学生5名、市民活動コースに15名、計36名が受講。講座は「海上の森で学んで持続可能な社会づくりに貢献しましょう！」をテーマに各コース共通の基礎講座から始まりました。講師には、各分野の多彩な人材が招聘されています。また、受講生には、修了後、様々な分野での活躍が期待されます。

開校式では、国際交流コースに参加する留学生に対して、多年に亘り、多大な援助を実施されてきたソロブチミスト瀬戸に対し、愛知県知事から感謝状が授与されました。当会の益々の発展と活躍をお祈り申し上げます。



式典に引き続き、「地域のための地域のエネルギー、森とのかかわり」と題し、新妻弘明東北大学名誉教授による記念講演が行われました。講演は、先の東日本大震災の体験を通して、そこから浮かび上がった高度な巨大システムの脆



さとその怖さ、また対極として薪の活用など地域の恵みを生かす心と技、誇りと自信という取組と内容で、紹介された良寛さんの詩とともに心に残るものでした。

海上の森散歩

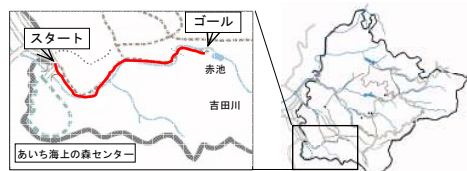


あいち海上の森センター～赤池

センターの前から森の中に入っていくと、吉田川沿いの道が続いています。道沿いには広葉樹が多く、道近くのぬかるみにはイノシシが泥浴びをしたと思われる跡が残っていることもあります。歩いていると、トンボと多くすれ違い、川のせせらぎや、鳥たちの声がよく聞こえてきます。道の途中にある広久手第1池では、運がよければカワセミに会えるかもしれません。



赤池では、ヒシが葉を広げて池の水面を覆っています。池からの風で涼をとりながら夏を感じることができます。(危険ですので池には入らないでください。)



所要時間: 約15分
(片道)

森のスズメを調べています

スズメは「家のまわりや農地に一年中いる鳥」と思われがちですが、平成21年からあいち海上の森センター



周辺の出現状況を調べてみたところ、5月頃から8月頃の限られた時期にだけ、森の中やそのまわりに現れることがわかってきました。そこで、スズメはこの時期に森で何をしているかを探るため、5月から観察情報を募集しています。もしセンター周辺でスズメを見かけましたら、センター入口に9月末まで応募箱を設置していますので、情報をお寄せください。集まった情報はセンター職員の観察情報と合わせ、センターの展示室やホームページで報告する予定です。



<三十七回も遊びに行った愛・地球博>

くす玉人形作家 八島 昭子さん

毎回、朝は瀬戸会場から入場。並んで待ったけど、ゴンドラに乗るのが楽しかったです。森の精「モリゾー」と「キッコロ」は、愛・地球博開幕前から瀬戸へ会いに行きました。

そして自分風の作り方でモリコロを折り紙で作るようになり、方々のパビリオンに持参しては飾っていただいていた。特にカナダ館との交流は思い出深いものがあります。

当時は瀬戸の万博おじさんとも顔見知りになり、そのお陰で『あいち海上の森センター』に手作りのくす玉を原型としたモリコロ人形を四季折々入れ替えて飾っていただけることになり、現在も続けさせて頂いています。

自然あふれる会場で世界の人々との触れ合い、会場のいろいろなスタッフさんとの出会い、そして小動物との出会いなど、愛・地球博では大きな夢とエネルギーを与えられ、その勢いで



展示されているくす玉人形

今も当時の雰囲気を探し求めています。先日も「モリコロパーク夏まつり」に行き、モリコロとその仲間たちに会って思い出を手繰り寄せました。

あいち海上の森センターには、年に五、六回モリコロ人形を入れ替えさせていただいています。センターでは時には可愛い昆虫に会い、山では小鳥のさえずりが聞こえ、春先にはウグイスが美しい声を聞かせてくれます。ムササビもいるかなあと・・・。

空気のおいしい自然いっぱいの中でモリコロ人形を飾らせていただき、人形達も時には森の仲間たちと遊んでいるかもしれないと想像を膨らませています。センターの皆様には素晴らしい機会をいただき大変感謝いたしております。

<プロフィール> くす玉人形作家。平成5年にくす玉人形を考案し、様々な場所で作品展を開催している。センターの入口では季節に合わせたモリゾーとキッコロの人形を展示しており、来館者の目を楽しませている。



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言

遊歩施設で楽しいひとときを

あいち海上の森センター（ムーアカデミー）には、遊歩施設があります。海上の森を手軽に楽しみたい方にはお手頃な散策コースが整備されています。

この中には、窯の歴史館、繭玉広場と休憩もできる建物があります。窯の歴史館には、今から約千年も前に陶磁器を焼いていた窯の跡が保存されています。瀬戸焼のルーツとも言えるここで焼かれた平安時代の焼き物は、現代でも使えそうな出来栄えで見事なものです。

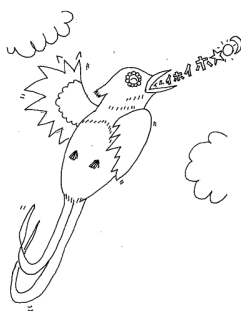
繭玉広場は、蚕のつくる山繭をモチーフとして建てられた建物で、木造にしては珍しく、一部が湾曲した漆喰の壁で出来ています。

これらの他にも物見の丘にある間伐材で組み立てられた塔に登れば、瀬戸市街だけでなく名古屋港まで一望できます。

あいち海上の森センターにおこしの際は、遊歩施設も是非ご利用ください。(N.T)

森のなかま

夏鳥紹介 ～サンコウチョウ～



海上の森には、夏鳥として10種以上の野鳥が来ます。その中でも華麗な姿のサンコウチョウは、一番人気があるかもしれません。特に、雄は尾羽が長く、中央の二枚は30cm程にもなります。この尾羽を除く体長は17.5cmで、

スズメよりやや大きい野鳥です。サンコウチョウは、主にスギ・ヒノキのある、うす暗い林を好むようです。長い尾羽を巧みに使い、枝先でひらひらと飛翔しながら、昆虫を捕らえる姿は、優雅な舞いを見るようです。そのさえずりは、「月、日、星、ホイ、ホイ、ホイ」と聞こえ、三光鳥と名付けられました。コバルトブルーのアイリングと同色のクチバシを持つ夏だけの仲間です。(絵・文 SKI)

展示の目玉

自然観察ビンゴを始めました

森の宝物探しに出かけよう。散策しながら楽しめる展示として自然観察ビンゴを常設しました。風の音や草のにおい、昆虫や景色といった、自然を目や耳などの五感を使って散策できる自然観察ビンゴです。普段自然に慣れ親しまない人でも自然の中を歩き回ると、「この辺りでは赤い花がある」、「綺麗な鳥の声が聞こえる」といった様子が見えだんだんと理解できるように作られています。ぜひ散策の友に自然観察ビンゴをご活用ください。



その他のお知らせ

Twitter(ツイッター)始めました

あいち海上の森センターでは、センターや海上の森の情報を広く発信するためにTwitterアカウントを開設しました。主にセンター主催のイベント情報や、海上の森を散策する際の注意情報を見ることができません。また、海上の森の季節情報なども発信していく予定です。なお、センターからの返信等はいりませんのでご了承ください。以下のページから発信した内容(ツイート)を見ることができます。ぜひアクセスしてみてください。

http://twitter.com/kaisho_center



参加者募集



| イベント名 | 開催日 | 定員 | 募集期間 |
|----------------------------------------------------------|------------------------|------------|--------------|
| ☆ 調査学習会 ー海上の森の秋のキノコー | 10/14 (日) | 50名 | 8/14 - 9/30 |
| ☆ 森の教室 ー人工林の手入れ(2日間連続講座)ー 対象:小学4年生以上、小学生は保護者同伴 | 10/21 (日) 11/11 (日) | 30名 | 8/21 - 10/7 |
| ♪ 森の楽校(がっこう) ーかさこそ森で木の実を拾おうー ※同時開催:「森のようちえん」 幼児と保護者対象 | 11/4 (日) | 30名 20組 | 9/4 - 10/21 |
| ♪ 森の楽校(がっこう) ーぼかぼか森で落ち葉と遊ぼうー ※同時開催:「森のようちえん」 幼児と保護者対象 | 12/2 (日) | 30名 20組 | 10/2 - 11/18 |
| ☆ 森の教室 ー森の恵みを活用しよう 「木材、竹、ツルなどを使った工作」ー | 12/9 (日) | 30名 | 10/9 - 11/25 |

対象:小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》

官製はがき、FAX または E-mail に ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し(応募者の住所等が異なる場合は全員分)、申込期限(当日消印有効)までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》

☆印のイベント:NPO 法人 海上の森の会(〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局 TEL/FAX: 0561-21-9298 E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)

♪印のイベント:あいち海上の森センター(〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp)

予告!! 「第6回人と自然の共生国際フォーラム」10月13日(土)開催予定



場 所:地球市民交流センター(愛・地球博記念公園内)

テーマ:持続可能な社会を目指して、理念から行動へ、今変わる時

～今を、明日を、語る・描く・奏でる～

* 詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。

編集後記

蒸し暑い季節になりました。森の中では日陰は涼しく感じられますが、歩いていると徐々に辛くなってきますので、水分補給には十分気をつけてください。暑い中でも昆虫たちは元気です。その元気を分けてもらいたいものです。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成24年8月9日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

